

財団法人 日本クリスチャンアカデミー機関誌

2011年5月号

はなしあい

発行編集人

財団法人 日本クリスチャンアカデミー
理事長 シュベネマン クラウス

発行所

日本クリスチャンアカデミー
東京都新宿区西早稲田2-3-18
03 (3207) 6198
振替口座 01020-1-5184

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第524号

—— 七五五年、ポルトガルの首都リスボンを大地震と津波が襲った。啓蒙思想家ヴォルテールは現地からの便りをもとに小説「カンディッド」を書く。

「足元で大地が揺れるのを感じた。港の海水は泡立って高く盛り上がり、停泊中の船を砕くのだった。炎と灰の渦が町の通りや広場を覆いつくし、家々は崩れ落ち、屋根は建物の土台のところにまで倒壊し、土台は散乱し、三万人の老若男女の住民が廃墟の下敷に……」(岩波文庫、植田裕次訳)

当時のヨーロッパではライプニッツの弁論論「つくりこ」の世に悪はたしかに存在するが、結局のところ、神の善と矛盾はない。という思想が、ボームも「人間論」で「我等が『悪』と呼ぶものは、全体との関連では『善』である……」(岩波文庫)と書いていた。

しかし、リスボンの惨状を聞いたヴォルテールは神を問いただす。「カンディッド」には弁論論の博士を登場させ、何ごとにも「神の想定内だ」と

て、各方面から批判を浴びた。悲しい出来事が起ると、とかくこうした発言が出てくる。阪神大震災のときも、リビアのカダフィ大佐が「悪魔(アメリカ)に奉仕してきた日本人に天罰が下った」と話したそう。

いずれも自分自身を棚に上げて語るべきことではないが、ちらと似た思いを抱いた人は



関東宗教対話チーム委員

菅原 伸郎

「神は本当に善なのか」

街に照準を合わせたつもりで、神は少し手元が狂ったのだろか。あるいは「ヨブ記」のように、しばしば遊び心からサタンに一切を任せてみたのか。こうした疑問は、とりわけ二十世紀に強まった。たとえば、ドイツの哲学者ハンス・ヨナスは「アウシュヴィッツ以後の神」(法政大学出版局)で、神の全能と神の善とが両立可能な論理を探ったうえで、前者については疑問と

非信徒の私には、そもそもキリスト教の「人格神」というドグマに無理があるように

おられるのではない。たとえばノアの箱船の話の思い出し、私たちに何か落ち度がある神は罰を下されたのか、など。

いや、地震と津波と放射能が襲ったのは、とりわけ識人で純朴な人たちの住む地域なのだ。大都市の歓楽街や金融

もあれ、被災地だけではなく、世界各地の人たちがそれぞれに「答え」を求めて立ちすくんでいる。仏教のように「起るべくして起った」と説明してみても、それでなかなか納得もできない人間である。

救いなのは、アウシュヴィッツやヒロシマや南京の事件と違って、今回の悲劇が人間の悪意からは起こっていないことだ。原発事故にしても、過失はあったものの、電力会社が好んで起こしたことは、虐殺や戦争は殺意や侮蔑から始まるが、今回のこと

(東京医療保健大学教授)

プログラム案内

◆関東活動センター

■今日の課題プログラム

「3・11東日本大震災現地報告会」
講師：太田春夫さん(日本基督教団千代田教会牧師)
宮本安祐さん(日本基督教団隠岐牧師)

日 時：2011年5月7日(土)
会 場：日本キリスト教会館6階
参加費：無料

■聖書講座

「新しい聖書の学び」
講師：山口里子さん(フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日 時：2011年6月～2012年3月
全10回(月1回)18:30～20:00

①6月7日(火) ②7月5日(火)
③8月2日(火) ④9月6日(火)
⑤10月4日(火) ⑥11月1日(火)

クリスチャンアカデミー
ホームページ

財団本部

http://www.academy-nippon.com

関東活動センター

http://www.academy-tokyo.com

関西セミナーハウス

http://www.academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター

http://www.academy-kansai.org

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
理事長 シュベネマン クラウス

本部事務局

〒608-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2115
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198
FAX 03-3207-2478

E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/

関西セミナーハウス活動センター

〒608-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2115
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

E-mail: info@academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター

E-mail: of ce@academy-kansai.org

⑦12月6日(火) ⑧1月10日(火)
⑨2月7日(火) ⑩3月6日(火)
会 場：キリスト教会館 6階
参加費：1,200円(賛助会員1,000円、学生500円)
テキスト：山口里子「新しい聖書の学び」(新教出版社) *各自ご用意ください。

◆関西セミナーハウス活動センター

■開発教育セミナー

第1回「開発教育入門セミナー」

日 時：2011年5月8日(日)

10:00～16:30

場 所：京都市国際交流会館

参加費：無料

申 込：JICA大阪国際センター
(HP参照)

■修学院フォーラム「いのちを考える」

第1回「生命哲学とキリスト教」

講 師：ホアン マシアさん(イエズス会士)

日 時：2011年5月14日(土)

13:30～17:30

参加費：2,000円、学生500円

■神学生交流会

第1回「いのちとは何かを考える」

日 時：2011年5月14日(土)

12:00～17:00

講 師：土井健司さん(関西学院大学神学部教授)
※13:30から修学院フォーラムに合流。

賛助会費・寄付金報告

2011年3月1日～31日(順不同・敬称略)

◆関東活動センター

賛助会費

早稲田奉仕園 300,000

第3回神学生交流プログラム

藤 知佳 5,000

早稲田奉仕園 10,000

日本基督教団京都教会 10,000

小沢 英輔 10,000

立石 嘉子 5,000

長津 栄 5,000

◆関西セミナーハウス活動センター

寄付金

日本基督教団洛西教会 10,000

日本基督教団京都教会 50,000

松村 直子 5,000

日野 多栄子 3,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。

■修学院フォーラム「人と教育」
第1回「本当のことは「ひとり」から始まる」

講 師：安積力也さん(基督教独立学園高等学校校長)

日 時：2011年5月28日(土)

13:30～17:30

参加費：2,000円、学生500円

※終了後、「講師を囲む談話会」18:00～21:00

会 費：2,500円(夕食代、お茶代込み)

■開発教育セミナー

第2回「開発教育入門セミナーパートII～実践編」

講 師：開発教育研究会

日 時：2011年6月18日(土)

16:00～19日(日)12:00

参加費：10,500円(1泊2食込)

■修学院フォーラム「いのちを考える」

第2回「71年間ハンセン病療養所に生きて」

講 師：上野正子さん(国立療養所星塚敬愛園入所者)

日 時：2011年6月9日(土)

13:30～17:30

参加費：2,000円、学生500円

お知らせ

2011年3月に開催予定でした第3回神学生交流プログラムは、東日本大震災の影響により中止とし、来年2012年3月に順延とさせていただきます。

東 西 南 北

黒岩 裕二

本部事務局郵託に4月1日付で着任しました。

春名 康範

関西セミナーハウス活動センター所長を3月31日付で退任しました。

小久保 正

4月1日付で、関西セミナーハウス活動センター所長代行に就任しました。

吉田 柱

関西セミナーハウス職員(フロント)3月31日付で退職しました。

堀部 丈司

関西セミナーハウス職員(フロント)、4月1日付で着任しました。

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

2011年度 事業計画

I. 事業計画基本方針

2011年度において当財団は二つの大きな課題に直面する。その一つは公益法人認定の申請である。もう一つは、本部事務局の京都への移転に伴う財団の運営体制の変化である。運営についての予算編成等は、2010年度第1回理事会で承認されている事務局体制計画に従って行うことにする。

また、厳しい財政状況ではあるが、積極的なプログラム活動の推進と関西セミナーハウスの経営努力の成果が期待される中で、以下の6点を事業計画の基本方針とする。

1. 公益財団法人の認定を目指す

2008年第2回理事会で、当財団が「公益財団法人」認定を目指すことが確認され、以後、財団内のプロジェクトチームが外部の専門機関による指導を受けつつ、認定申請のための準備作業を展開してきた。2011年度中の公益財団法人の認定を目指し、実現に向け金力を傾注する。

2. 財団活動の展開

2007年度に纏めた、「日本クリスチャン・アカデミーの理念」に基づき、キリスト教の社会に対する奉仕の一つの姿として、社会と人々の持つさまざまな価値の多様性を尊重しながら、正義、平和、いのちが尊ばれる社会の実現を明確な目標とし、活動を一層活発に展開する。

3. プログラム活動の推進

- 1) 東西活動センターは、現有のアカデミー固有の活動プログラムを継続、発展させる。
- 2) 東西活動センターは、アカデミーの理念に基づき今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組む。
- 3) アカデミー固有の東西合同プログラムの実施に引き続き取り組む。

4. 運営推進体制の安定化

プログラム活動の運営推進に当たって、継続的な活動プログラムに関しては明確な方向性と予算計画を持ち、プログラム毎の収支の総合化を原則とする。新規プログラムについても、必要財源を開発し、活動の安定的展開を目指す。

5. 賛助会員の獲得による賛助会費および寄付金の増収

一人でも多くの賛助会員を獲得し、賛助会費および寄付金の増収をはかり、事業の財政基盤の強化に努める。

6. 関西セミナーハウス事業の安定化

当財団の事業を展開する主な場である関西セミナーハウスは、厳しい財政状況の下に本年度もプログラム活動の場としての活用を強化し、事業の本格的な安定化に取り組む。

II. 活動計画

1. 関東活動センター活動方針

- 1) 日本クリスチャンアカデミーの理念に常に立ち返りつつ、現代社会の要請にこたえる密度の高いプログラムを企画・実施することによって、リピーターを獲得し、対話の深度を深める。
- 2) 対外的には、広報のネットワークの強化をはかることでプログラムの周知・賛助会員（個人・団体）と寄付者の新規加入を求めて、関東活動センターの財政基盤をより強く築いていく。
- 3) 前年度から始めた「聖書講座」は、今後のプログラムの核となるよう、発展させていく。

2. 関西セミナーハウス活動センター活動方針

継続的に参加する人を核として、講師の発題を受けて参加者自らが思索し、回を追って討議内容が積み重なることを期待する修学院フォーラムを企画し、「福祉とこころ」、「いのちを考える」、「人と教育」の三つの観点から考える。

福祉では「福祉と聖書のこころ」を引き続き一回企画し、全体的には福祉の現場からの声を聴く会に発展させたい。「いのちを考える」では、いのちを慈しむとは具体的にどんな形をとるのかを現代の問題とのかかわりで考える。

「開発教育セミナー」では、人権・平和・環境に関する地球的課題をテーマに参加型の学びを続けてきたが、引き続き日本と世界のつながりを、「持続可能な開発」をキーワードに考える。

関西地区の神学生の日常的な交流を図るため、昨年度から始めた「神学生交流会」を年2回開催する。

セミナーハウスの施設と自然を生かしたプログラムとして長年続けてきた「お茶こころえの会」を、昨年度は「お茶とキリスト教研究会」として隠れキリシタンとの関連を注視しながら深めたが、新年度は「お茶のこころと宗教のこころ」というテーマにして広く宗教的な関わりを考える。長年開催してきた「もみじまつり」は、内容を充実させて新年度も関西セミナーハウスと共催で実施する。

昨年度と同様、「神学生交流プログラム」を関東活動センターと共催し、「幼保セミナー」、「IMF-JC労働リーダーシップコース」、「修学院実践神学研究会」にも協力する。

いずれのプログラムにおいても、核となる継続的参加者群が形成され、それに新しい参加者が加わるように工夫する。さらにプログラムの趣旨に賛同し、賛助会費や寄付金で活動を支援して下さる人の輪を広げたい。

3. 関西セミナーハウス 事業運営方針

関西セミナーハウスは本財団とそのプログラム活動に貢献することを事業運営の基本とする。景気の低迷、雇用環境悪化、それらに伴う人材育成への投資の手控えなどの影響を受け、事業運営は困難が予想されるが、職員はじめスタッフ一体となって、円滑な運営を行う。なお、今年度は大規模改修の第一期工事を予定する。

運営基本方針

1) お客様第一の態勢づくり

関西セミナーハウスの有する有形、無形の財産をもって、お客様第一の態勢を築き、よりお客様満足の向上を徹底する。

2) 大規模改修第一期工事への取組み

客室、大会議室、ロビー周りのリニューアル、インフラを含む傷みの激しい箇所の補修などを中心とした第一期改修工事を行う。

3) コア利用者への働きかけと新規顧客の獲得

引き続き、キリスト教諸団体、シンバ企業・シンバ団体・個人などコアとなる利用者への働きかけを強める。また教育機関の利用促進を柱に、新規顧客の獲得に努める。

4) 職員スタッフの整備、職場研修の充実

退職者が予定されており、その補充を行い、職務に支障が出ないように要員の整備を行う。また継続的な職場研修の充実をはかる。

5) 研修利用者80：個人利用者20

リニューアルされたホームページを核に、外部のインターネット宿泊サイトの活用、研修向け並びに個人向け企画の発信力を強め、利用者の増加を目指す。

6) 収支のバランス

当年度は大規模改修を行うため、2月～3月の宿泊予約の受付を制限しなければならないので、収支のバランスは崩れるが、市場状況を踏まえた価格設定、経費低減を徹底して収支管理を行う。

主な数値目標

本年度は2012年2月～3月に改修工事を予定するため、その影響を勘案している。

- 1) 収入計画（P&Lベース）：9,000万円
- 2) 営業収支計画（P&Lベース）：-1,900万円
- 3) 設備投資額：6,000万(第1期リニューアル分5,800万円を含む)
- 4) 宿泊者目標：7,500名
- 5) 年度期首要員：25名、職員5名（内1名休職中）、嘱託6名、パートタイマー14名

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー 2011年度収支予算

(単位：円)

科 目	本部事務局	関東活動センター	関西セミナーハウス活動センター	関西セミナーハウス	内部取引	合 計
事業活動収支の部						
事業活動収入						
基本財産運用収入	18,000				0	18,000
特定資産運用収入	800			10,000		10,800
会費収入		1,000,000	500,000		0	1,500,000
事業収入	13,100,000	587,000	4,138,000	88,975,000	0	106,800,000
寄付金収入		250,000	1,500,000	1,025,000	0	2,775,000
雑収入	881,200	1,000		490,000	0	1,372,200
事業活動収入計	14,000,000	1,838,000	6,138,000	90,500,000	0	112,476,000
事業活動支出						
事業費支出	11,434,320	1,838,000	6,138,000	83,267,174	0	102,677,494
管理費支出	11,634,720				0	11,634,720
事業活動支出計	23,069,040	1,838,000	6,138,000	83,267,174	0	114,312,214
事業活動収支差額	△ 9,069,040	0	0	7,232,826	0	△ 1,836,214
投資活動収支の部						
投資活動収入						
特定資産取崩収入				60,000,000	0	60,000,000
投資活動収入計	0	0	0	60,000,000	0	60,000,000
投資活動支出						
特定資産取得支出	210,960			12,732,826	0	12,943,786
固定資産取得支出				60,000,000	0	60,000,000
投資活動支出計	210,960	0	0	72,732,826	0	72,943,786
投資活動収支差額	△ 210,960	0	0	△ 12,732,826	0	△ 12,943,786
予備費支出	220,000	0	0	0	0	220,000
当期収支差額	△ 9,500,000	0	0	△ 5,500,000	0	△ 15,000,000

2011年度 関西セミナーハウス活動センター プログラム予定表

シリーズ名	回数	開催予定日	プログラム題	講師	主催 共催
修学院フォーラム 「福祉とこころ」	第1回	2011/11/26	「個をみつめて」ー洛西愛育園の 取り組みからー	高木恵子 (洛西愛育園園長)	主催
	第2回	2012/2/18	聖書に尋ねる福祉の思想 (仮)	岡山 孝太郎 (日本キリスト 教社会福祉学会副会長)	主催
修学院フォーラム 「いのちを考える」	第1回	2011/5/14	生命哲学とキリスト教	水安・マシア (イエズス会士)	主催
	第2回	2011/7/9	71年間ハンセン病療養所に生きて	上野 正子 (国立療養所 皇塚敬愛園入所者)	主催
	第3回	2011/11/5	誕生・生・死について考える ーキリスト教倫理と一般倫理の はざま (仮)	関根 清三 (東京大学人文 社会系研究科教授)	主催
	第4回	2011/12/17	いのちからの問い、いのちへの 問いー生命倫理を超えて (仮)	安藤 泰至 (鳥取大学医学部准教授)	主催
修学院フォーラム 「人と教育」	第1回	2011/5/28	本当のことは「ひとり」から始まる	安藤 カ也 (基督教独立 学園高等学校校長)	主催
	第2回	2011/9/17	仲間とつながり合って、 ハッピーに生きようぜ!	金森 俊朗 (北陸学院大学 人間総合学部教授)	主催
	第3回	2011/11/12	教育と社会	野田 正彰 (関西学院 大学教授)	主催
開発教育セミナー	第1回	2011/5/8	開発教育入門セミナー (京都市国際交流会館)	開発教育研究会、他	共催
	第2回	2011/6/18～19	開発教育入門セミナー・パートII	開発教育研究会	主催
	第3回	2011/7/23～24	食とグローバリゼーション ー日本の農業を考える	大野 和典 (アジア農家交流 センター世話人)	主催
	第4回	2011/9/19～21	炭坑労働者のくらしと歴史を学ぶ 旅in筑豊	大森 光博 (前日本キリスト 教団福音伝道所牧師)	主催
	第5回	2011/10/29～30	ありのままの私を生きるために ー多様な性と生	土肥 いつき (セクシャルマ イノリディ教職員ネットワ ーク副代表)	主催
	第6回	2011/12/10～11	原子力の“平和”利用って? ー核と原発と温暖化	小出 裕章 (京都大学原子 炉実験所助教)	主催
神学生交流会	第1回	2010/5/8	いのちとは何かを考える	土井 健司 (関西学院大学 神学部教授)	主催
	第2回	2011/10/8	礼拝と音楽 (仮)	関谷 直人 (同志社大学神学部教授)	主催
お茶のこころと宗 教のこころ	第1回	2011/4/4	最後の晩餐と茶道をめぐって	春名 康範	主催
	第2回	2011/10/17	高山右近の生涯とその顕彰活動に ついて	天田 茂	主催
	第3回	2012/2/13	大友宗麟と大徳寺瑞峯院	前田 昌道	主催
もみじまつり		2011/11/23	セミナーハウスを開放し、紅葉、 お茶、音楽を楽しむプログラム		主催*

シリーズ名	回数	開催予定日	プログラム題	講師	主催 共催
修学院実践神学研 究会	第1回	2011/4/18	教派を越えて教職者が学び、黙想 し、祈り合う趣旨の会	榎本、春名	協力
	第2回	2011/6/13	同上	同上	協力
	第3回	2011/9/12	同上	同上	協力
	第4回	2011/11/7	同上	同上	協力
	第5回	2012/2/20～21	同上	同上	協力
第29回 幼保セミナ ー		2011/11 (予定)	保育園と幼稚園における 様々な問題の克服を考え合う		協力
第43回 I M F-J C 労働リーダーシッ プコース		2012/1/11～28	基幹産業の労働組合役員を 対象にした研修		協力

*関西セミナーハウスと同活動センターの共同主催

※テーマ・日程は、変更の可能性がある。

2011年度 関東活動センター プログラム予定表

シリーズ名	回数	開催 予定日	プログラム題	講師	形態
第2回聖書講座 「新しい聖書の学び」	第1回	6月7日	オリエンテーション	山口里子	共催
	第2回	7月5日	創造物語	山口里子	共催
	第3回	8月2日	出エジプトの物語	山口里子	共催
	第4回	9月6日	神のイメージ	山口里子	共催
	第5回	10月4日	イエスの誕生とその世界	山口里子	共催
	第6回	11月1日	イエス運動： 福音の実践とヴィジョン	山口里子	共催
	第7回	12月6日	イエスの死と復活	山口里子	共催
	第8回	1月10日	最初期キリスト教エクレシア	山口里子	共催
	第9回	2月7日	エクレシアの父権運動	山口里子	共催
	第10回	3月6日	キリスト教の明日へ	山口里子	共催
宗教対話プログラム	第1回	7月9日	関東大震災を宗教者はどう 受け止めたか	鈴木範久	主催
	第2回	10月	予定	未定	主催
	第3回	2月	予定	未定	主催
今日の課題 プログラム	第1回	5月7日	3・11東日本大震災 現地教会報告会	太田春夫 宮本晏祐	主催
	第2回	8月	環境・いのち・アジアに 関わる問題を取り上げる	未定	主催
	第3回	3月		未定	主催
アカデミー 新年の集い	1回	1月	アカデミーの活動理解を深め るための講演会と交流会	未定	主催
神学生交流 プログラム	第3回	3月	礼拝、基調講演、交流、 フィールド・トリップ	校長 関田寛雄 講師 加藤常昭	共催

※テーマ・日程は、変更の可能性がある。